

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年8月21日～2017年8月27日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成29年8月31日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼「アブハジア共和国外相」のシリア訪問(16日—2日)

- ・コヴェ「アブハジア共和国外相」らがシリアを訪問。シリアのハミス首相、ムアッレム外相、アル・ハリル経済相、アンズル議会議長らと会談。「アブハジア共和国政府」の発表によれば、会談でアブハジア側はシリアとの更なる関係の発展に向けた希望を表明し、アブハジアへシリア側の代表団を招待した。
- ・「アブハジア共和国政府」代表団はダマスカス国際フェアに参加。フェアではアブハジアの文化・経済の展示が行なわれた。
- ・22日、ジョージア外務省は抗議声明を発表。

2. 外政

▼ジョージア・米国防協力(24日)

- ・国防省と米欧州軍司令部はジョージアの国防能力の強化に関する協力覚書に署名。2016年から2019年にかけての安全保障協力に関するジョージア国防省と米国防省の合意の一部である「ジョージア国防体制整備プログラム」の実施における協力に関するもの。

▼外相のドイツ訪問(25日—27日)

- ・ジャネリゼ副首相兼外相がドイツ、フランクフルトを訪問。ロート独立外務省国務大臣、プトリフ・ヘッセン州安全保障・欧州問題担当国務大臣、カルトマン・ヘッセン州議会議長、フランクフルトのビジネス関係者らと会談。
- ・「ロ」国務大臣との会談では両国関係、ジョージアの欧洲との統合プロセスおよびその道のりにおけるドイツの政治的・実際的支援の意義、東方パートナーシップ首脳会議に向けた準備などについて議論。「ジャ」外相はジョージアの国内改革、EUとの連合協定の実施の進捗を「ロ」国務大臣に説明。

3. 内政

▼ボルジョミ付近での山火事

- ・20日にボルジョミ地区ダバ村付近で山火事が発生。21日、クヴィリカシヴィリ首相は緊急対策本部を設置した。険しい地形のため消火活動は難航。風で火災は急速に拡大し、数日間燃え続けた。100ヘクタール以上の森林が被害を受けた。
- ・25日、クヴィリカシヴィリ首相は「火災は消し止められたと言つてよい」と述べた。26日朝には「ム」内相、イゾリア国防相およびエロシヴィリ・エネルギー相がヘリコプター上から一帯の状況を確認。

・消火活動にはアゼルバイジャンのヘリコプター3機、消防車、特殊消火装置、消防士90名、アルメニアの消防車、消防士65名、トルコのヘリコプター2機、飛行機1機、ベラルーシのヘリコプター1機が参加した。

- ・27日、消火活動中のジョージアのヘリコプター1機が貯水池に墜落。3名の乗組員が負傷し病院に運ばれた。
- ・火災の原因については内務省が捜査中。

・22日にはゴリ地区でも山火事が発生したが、翌23日に消し止められた。24日にはシグナギ地区、ラゴデヒ地区、ムツヘタ地区でも小規模な山火事が相次いだ。

▼民主運動・統一ジョージアと自由ジョージアのトビリシ市長候補者(21日)

- ・民主運動・統一ジョージア（ブルジャナゼ党首）と自由ジョージア党（クカヴァ党首）は、10月の地方選挙でクカヴァ自由ジョージア党首が両党の統一候補としてトビリシ市長選挙に立候補することを発表。副市長にはロルトキパニゼ氏（民主運動・統一ジョージア）が立候補する。

▼地方選挙の日程の決定(22日)

- ・マルグヴェラシヴィリ大統領は地方選挙を10月21日に実施すると発表した。地方選挙の日程の決定により選挙前期間が始まり、行政予算の使用の制限や選挙管理委員の報酬の増加など、選挙法の様々な規定が発効する。
- ・地方選挙では59の地区とトビリシを含む5つの自治市が市長・地区長および市議会・地区議会議員を選出する。トビリシ市長選挙については既に7名の立候補者が指名されている。

▼トルコ国民の勾留の延長(23日)

- ・トビリシ市裁判所は、トビリシ市内の私立デミレル学校の経営者の一人チャブク氏について、検察の要求に基づき、トルコへの身柄の引き渡しに先立つ勾留の3か月の延長を決定。

・チャブク氏は、トルコ政府がテロ組織に指定しているギュレン系組織 FETÖ と関係を持つとしてトルコ政府から指名手配されている。トビリシ市裁判所は、「より軽い予防措置」では「身柄の引き渡しの手続きの適切な実施」が保証できないとの判断を下した。チャブク氏の弁護人は裁判所の決定を非難し、控訴する意向を示した。

- ・チャブク氏はジョージア政府に対し、自身と家族の難民申請を行なっているが、7月に被占領地域出身国内避難民・難民省は申請の却下を決定した。弁護人の「バ」氏

はこの件についてもトビリシ市裁判所に提訴している。

▼地方知事の任命(23日, 25日)

- ・クヴィリカシヴィリ首相はチャヌクヴァゼ・オズルゲティ地区長をグリア地方知事に、ジャパリゼ・ラチャ・レチフミ・クヴェモ=スヴァネティ地方副知事を同地方知事に任命。

▼憲法改革をめぐる議論(25日)

- ・18日に憲法改革をめぐる与野党の議論が行なわれた際、与党は第2回目の会合の開催を約束していたが、25日に与党は、野党の強硬な姿勢を理由として第2回目の会合の開催は「不可能である」とする声明を発表。声明のなかで与党は、「野党の姿勢は非生産的であり、建設的な議論と合意を妨げることを目指していると考えざるを得ない」と述べている。
- ・野党は与党の態度を批判。

4. 経済

▼2017年7月の工業製品生産者物価指数(20日)

- ・国家統計局が発表。前月比0.1%上昇、前年同月比10.7%上昇。

▼2017年1月～7月の貿易統計(21日)

- ・国家統計局が2017年1月～7月の貿易統計(速報値)を発表。貿易額5,675.2百万ドル(前年同期比13.0%増)、輸出額1,446.7百万ドル(同28.9%増)、輸入額4,228.6百万ドル(同8.5%増)。
- ・輸出相手国の内訳はEU諸国23.4%、CIS諸国39.4%。輸入相手国の内訳はEU諸国28.4%、CIS諸国29.3%。国別では貿易額の多い順にトルコ、ロシア、中国、アゼルバイジャン、ウクライナ、ドイツ、アルメニア、米国、ブルガリア、イタリア。
- ・日本との貿易高は輸出額4,297.5千ドル、輸入額76,178.8千ドル。